

通常砂防事業再評価調書

路線・河川等名	<small>なかのたにかわ</small> 中ノ谷川	事業名	通常砂防事業	補助・単独の別	補助
事業主体	京都府	事業箇所(区間)	宇治田原町湯屋谷		
事業概要	目的	中ノ谷川は、宇治田原町湯屋谷に位置し、保全対象として人家38戸及び町道を含む溪流である。溪床に不安定な土砂が堆積しており、今後の集中豪雨等により土砂災害の発生が懸念されるため、対策工事を実施する。			
	内容	砂防堰堤 : 3基 全体事業費 : 6.0億円			
	上位計画等	京都府総合計画 社会資本総合整備計画			
	進捗状況及び今後の見込み	砂防堰堤工に着手しており、引き続き、砂防堰堤工を進める予定。			
事業の必要性	事業を巡る社会経済情勢及び地元情勢等の変化	保全対象には、人家38戸及び町道が含まれ、土砂災害が発生した場合、地域住民に与える影響は大きい。			
事業の有効性	事業の投資効果及びその要因の変化	土石流等の土砂災害から下流に存在する人家、公共施設を守り、人命を保全する事業であり、投資効果は大きい。			
事業の効率性等	コスト削減代替案立案等の可能性及び良好な環境形成・保全	砂防堰堤を効率的に配置し、地形の改変を最小限に抑え、自然環境への負荷軽減に努める。 また、現地発生土を他工事に積極的に流用調整することで、総事業費のコスト削減を図る。			
総合評価	本事業は、土砂災害からの人命保護及び地域の安全確保の観点から引き続き事業を継続する必要がある。				

なかのたにかわ

淀川水系 中ノ谷川 通常砂防事業

きょうとふ つづきぐん うじたわらちょう ゆやたに
京都府 綴喜郡 宇治田原町 湯屋谷

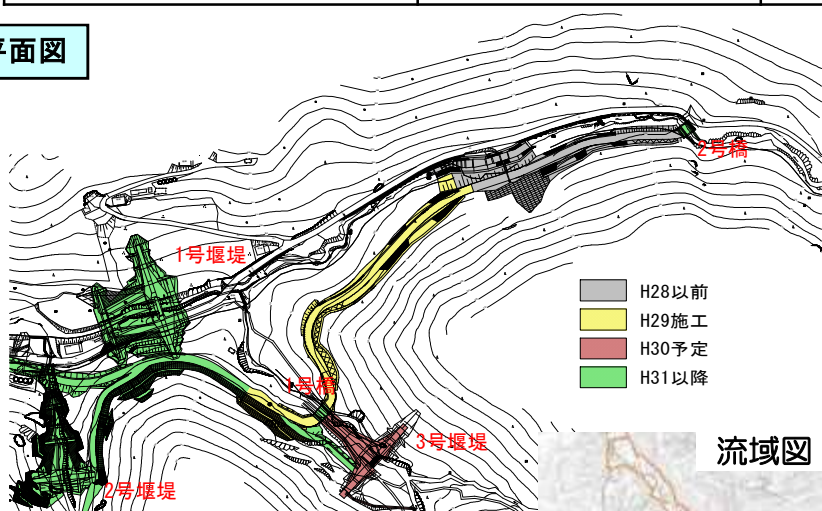
◎事業目的

中ノ谷川は、宇治田原町湯屋谷に位置し、保全対象として人家38戸及び町道を含む溪流である。溪床に不安定な土砂が堆積しており、今後の集中豪雨等により土砂災害の発生が懸念されるため、対策工事を実施する。

◎箇所概要

全体計画	H30までの実績	H31年度
H22～ 詳細設計・土質調査 砂防堰堤 3基 管理用通路 総事業費 600百万円	詳細設計 管理用通路 C=118百万円	3号堰堤 管理用通路 C=100百万円

平面図



施工予定地現況



流域図



溪流全景



保全対象



土砂災害特別警戒区域等に指定済

溪流荒廃状況



『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	令和2年2月26日		
		作成部署	建設交通部砂防課		
事業名	通常砂防事業	地区名	中ノ谷川		
概算事業費	約6.0億円	事業期間	平成22年度～		
事業概要	砂防堰堤3基				
目指すべき環境像	事業箇所周辺には住宅地が有り、景観の配慮が必要である。事業実施に当たっては、景観に与える影響を可能な限り小さくするよう配慮する。土砂災害の発生を防止する事業であり安心・安全を確保するとともに動植物の生育環境等保全に寄与する。				
関連する公共事業	なし				
評価項目		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価	
主要な評価の視点	選定要否				
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO ₂ 排出量等)	渓流が荒廃しており、 渓床には不安定な土砂が 堆積しているため、荒廃 の進行を防止し、それに 伴う渓流周辺の地形の保 全を図る必要がある。 流域において、指定希 少野生生物が生息してい る可能性がある。	砂防堰堤工を整備する ことで、土砂災害の原因 となる、渓流の土砂移動を 抑止し、現地地形の保全 を図り、生態系の維持に 寄与する。 野生生物の個体の生息 又は生育の環境への影響 を最小限となるよう配慮 する。		
	地形・地質			○	3
	物質循環(土砂移動)			○	4
	野生生物・絶滅危惧種			○	3
	生態系			○	3
	その他				
生活環境	ユニバーサルデザイン	渓流下流に人家等が位 置しているため、工事期 間中は工事車両による騒 音・震動を抑制する必要 がある。 また、建設発生土を極 カリサイクルする必要が ある。	工事実施中は、低騒音 ・低震動機械を使用す ることを原則とする。 また、建設発生土は当 該工事や近隣の公共工事 や民間工事と調整し、再 利用に努める。		
	水環境・水循環				
	大気環境				
	土壌・地盤環境				
	騒音・振動			○	3
	廃棄物・リサイクル			○	3
	化学物質・粉じん等				
	電磁波・電波・日照				
その他					
地域個性・文化環境	景観	当該渓流周辺は人家が 多数存在する地域であり、 景観への配慮や地形の改 変を最小限に止める必要 がある。	材料の選定において は、地域の自然景観との 調和を図るよう努め る。 地域住民に対して行う 工事説明会等は、防災に 対する意識向上を図り、 地域住民との協働につな がるよう検討する。	3	
	里山の保全				
	地域の文化資産				
	伝統的行祭事				
	地域住民との協働			○	4
その他					
外部評価					